

2022

6月

新講座

徳川美術館特別展「お宝のうら！なか！そこ！」連携企画

施された 優美な仕掛け

# 大名家お宝の「裏側」

美術展をより楽しむための  
講義と現地鑑賞

徳川美術館学芸員 薄田大輔



表



裏

左：伝狩野山楽筆「四季花鳥図屏風」左隻  
右：「群鶴図屏風」右隻部分

掲載作品はすべて徳川美術館蔵

## 【開催日（全2回）】

《栄中日文化センター講義》

6/27（月）13：00～14：30

《徳川美術館現地鑑賞》

7/28（木）13：00～14：30

※現地集合解散 詳細は6月の講座内で案内予定  
集合場所までの交通費は各自負担

【受講料】6,270円（税込）

※「お宝のうら！なか！そこ！」展 チケット代含む

【持ち物】 筆記用具

主役を裏返してみえたもの

大名家に伝わった道具の保管法

普段は見られないなんて  
もったいない！

屏風の裏側、箱の内側

学芸員しか知らない作品の裏側



名古屋・栄 中日文化センター

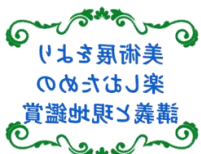
〒460-0008 名古屋市中区栄4-16-36 久屋中日ビル7F

☎0120-53-8164

10:00～19:00(日曜日は17:00まで)



徳川美術館特別展 「お宝のうら！なか！そこ！」 敷設企画



# 徳川美術館特別展 「お宝のうら！なか！そこ！」

徳川美術館学芸員 藪田大輔



甲冑、刀装具、能面、手箱、屏風、絵巻など様々な展覧会で公開されているこれらの作品は、通常「表」や「正面」を鑑賞できるように展示されています。

一方、贅を凝らして作られた作品は、裏や中まで華美に装飾されたり、別の作品が装幀されたりする事があります。

様々な作品の裏・中・底に施された仕掛けとその意義を考えていきます。また展示の裏側として、大名家に伝わる道具の収納・保管方法も紹介します。

徳川美術館での「お宝のうら！なか！そこ！」展(7/24～9/11)にあわせての講座です。6/27(月)は栄中日文化センターの教室で座学を行い、7/28(木)は徳川美術館にて特別展の見どころを担当学芸員の解説後、鑑賞する現地講座です。



薄田大輔 専門：近世絵画史

担当展覧会：「英雄たちの戦国合戦」  
「合戦図一ものふたちの勇姿を描く」ほか



外

中



裏

表

右上：菱紋扇散蒔絵鼓箱

左上：菱紋扇散蒔絵鼓箱 内側

右下：龍図軍扇 左下：白鳩図軍扇

QRコード Coming soon

徳川美術館 特別展

お宝のうら！なか！そこ！  
7/24(日)～9/11(日)

QRコードから 簡単申し込み!

詳細は下記フリーダイヤルまでお問い合わせください。

- ※受講料には維持管理費が含まれています。
- ※一部の講座の受講料には音楽著作権使用料が含まれています。
- ※内容・日程は変更になる場合がございます。ご了承ください。
- ※講座により募集締切日が異なりますので、お問い合わせください。
- ※お申込みの人数によっては、開講中止となる場合もございます。予めご了承ください。

中日文化センターへ 初めてご入会される方は、別途登録料550円(税込)が必要です。



名古屋・栄 中日文化センター

〒460-0008 名古屋市中区栄4-16-36 久屋中日ビル7F

0120-53-8164

10:00～19:00(日曜日は17:00まで)